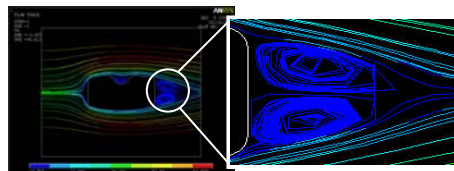
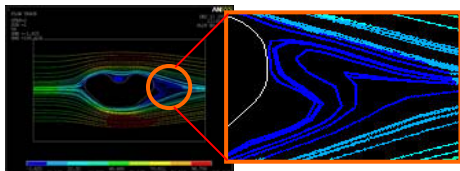
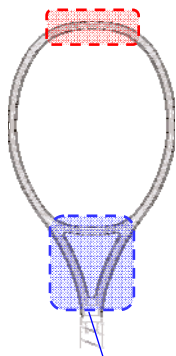


ヘキサゴン形状とCSカーボンナノチューブで「スピードアップ」

●フレームトップをヘキサゴン形状に



フレームのトップの部分を、空気抵抗を軽減したヘキサゴン形状にしました。これにより、振り抜いた後にラケットの周りにできる気流の渦を少なくすることができ、振り抜きを向上させることができました。



上図は、ヘキサゴン形状（左）と他社のボックス形状（右）の空気抵抗を測定し、比較したところ。各々の渦の拡大図を見ると、ヘキサゴン形状のほうが空気が滑らかに流れていることがわかります。（2008年 ヨネックス調べ）



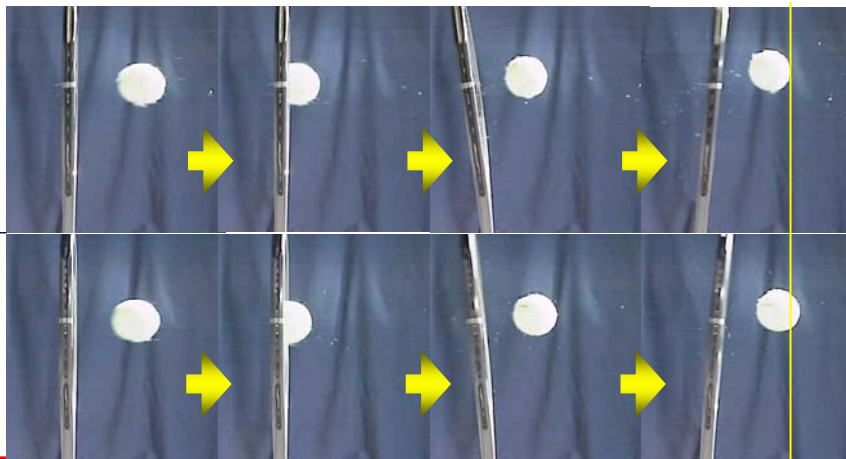
CSカーボンナノチューブ
模式図

●カップスタック型（CS）カーボンナノチューブをシャフト部分に採用

カップを重ねた多層構造のCSカーボンナノチューブ。重なりあったカップの1つ1つが衝撃によりフレキシブルに動くことで、強さと粘り、しなやかさを併せ持ち強靱な復元力を発揮します。ラケットに搭載することで、瞬時にボールをホールドし、捉えた力を素早く反発力に変えていきます。

【性能検証】（2008年ヨネックス調べ）

当社従来品
（CSカーボンナノチューブ
未使用）



RDインパクトスピード100

インパクト後の打球の軌跡を高速度カメラで測定しました。インパクト後のボールの飛びは、CSカーボンナノチューブを採用しているRDインパクトスピード100のほうが高まっており、出足の加速度が上がっているのがわかります。

この検証で、ボールスピードが3%向上しているのがわかりました。

新グロメットとH型形状の採用で「コントロール性能」アップ

●新グロメット「Feel Control Grommet」採用でスピン性能向上

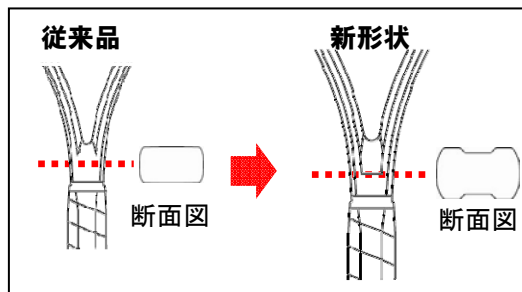


グロメット（ストリング〈糸〉を通すためにラケットに開けられた穴を保護するための部品）の溝を深くし、厚みを18%厚くしました。Feel Control Grommetは、フレームトップと両サイドに採用しています。これにより、ボールの喰いつきが強まり、従来よりもスピン性能が10.2%高まりました。

（2008年ヨネックス調べ）

	1分間あたりの回転数
従来品	約1180 (rpm)
RD インパクトスピード100	約1300 (rpm)

●「Stability Torsion Control」のH型形状採用で、面安定性アップ



グリップに一番近いシャフトの下部を新形状の「H型」にしました。このように段差をつけた形状にすることで、シャフトの剛性が高まりねじれを抑えることができます。

これにより、ボールがスイートスポットに当たらずオフセンターに当たったときでもねじれを減少し、面安定性を高めることができます。RDインパクトスピード100と従来品のオフセンターにボールを当て、その変位量を比べてみました。従来品の変位量を100%とすると、RDインパクトスピードは88%であったことがわかりました（2008年ヨネックス調べ）。

	力を加えた時の変位率
従来品	100%
RD インパクトスピード100	88%

製品概要

製品名	RDiS100 (RDインパクトスピード100)	RDiS100MP (RDインパクトスピード100 ミッドプラス)	RDiS300MP (RDインパクトスピード300 ミッドプラス)
カラー	クリスタルレッド		クリスタルホワイト
フェイス積	93 方インチ	98 平方インチ	100 平方インチ
素材	高弾性カーボン+ゴムメタル+カップスタック型カーボンナノチューブ		高強度カーボン+ゴムメタル+カップスタック型カーボンナノチューブ
価格	¥33,600 (本体価格¥32,000)		¥30,450 (本体価格¥29,000)
発売	2009年2月下旬		
原産国	日本		
販売目標	3万7千本 (年間・3機種合計)		
取り扱い	全国のスポーツ用品取扱店		